

遠藤哲教育長に心からの感謝と
哀悼の誠を捧げます

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味
あいらくふるさとみ

能登半島地震で被害に遭われた多くの方々の御身を案ずる毎日です。皆さまにおかれましても「常日頃から備えること」「常日頃から家族と話し合っておくこと」を是非お願い致します。村としても危機管理体制を常に見直して参ります。

村では1月5日から、村内各所に義援金募金箱を設置し、村社会福祉協議会を通じた取りまとめを行っております。皆様の温かいお心を寄せただければ有難く存じます。

皆さまに、とてもつらく悲しいことではありますが、ご報告致します。去る1月24日に、遠藤哲教育長が逝去されました。

東日本大震災とその後、原子力発電所事故による全村避難、村外への学校移転の中、平成23年8月に飯館中学校の校長として赴任されたのが飯館村との初めてのご縁でした。

不安を抱える子ども達や先生方を鼓舞し「厳しい学習環境は「我慢」する心を育て、多くのご支援が「感謝」の気持ちを育てる」と、現状を捉え直すことから「今だから、飯館中だからできること」「感謝の気持ちを力にかえて」をスローガンに、積極的に前向きな教育への取り組みをされました。

その一端ではありますが、学校長としての2年8か月の間に、伝統文化の継承として「田植え踊り」や「民話紙芝居」、「郷土料理」への取り組みを本格化させたことが、現在の「いいたて学」のルーツとなっています。

そして平成31年4月から現在に至るまで飯館村教育長として「竹のようにしなやかに、石のようにどしどし」と、自らに誇りを持つ教育」という教育理念を柱に、村の教育の根幹を築き上げることに全力をお尽くしいただいております。

この間2期4年8か月にわたり、教育に対する深い志と情熱をもち、周囲への心使いを忘れないそのお人柄をもって、村の教育行政のために、子ども達のために「ご尽力いただきましたこと」に、心から敬意を表し、また深く感謝申し上げます。

如何ほどの言葉をもつしても哀悼の念は尽きません。

私もまた、未来に羽ばたく子ども達のために全力を尽くしていくこととお誓い申し上げます。

能登半島地震で被害に遭われた多くの方々の御身を案ずる毎日です。皆さまにおかれましても「常日頃から備えること」「常日頃から家族と話し合っておくこと」を是非お願い致します。村としても危機管理体制を常に見直して参ります。

村では1月5日から、村内各所に義援金募金箱を設置し、村社会福祉協議会を通じた取りまとめを行っております。皆様の温かいお心を寄せただければ有難く存じます。

皆さまに、とてもつらく悲しいことではありますが、ご報告致します。去る1月24日に、遠藤哲教育長が逝去されました。

東日本大震災とその後、原子力発電所事故による全村避難、村外への学校移転の中、平成23年8月に飯館中学校の校長として赴任されたのが飯館村との初めてのご縁でした。

不安を抱える子ども達や先生方を鼓舞し「厳しい学習環境は「我慢」する心を育て、多くのご支援が「感謝」の気持ちを育てる」と、現状を捉え直すことから「今だから、飯館中だからできること」「感謝の気持ちを力にかえて」をスローガンに、積極的に前向きな教育への取り組みをされました。

その一端ではありますが、学校長としての2年8か月の間に、伝統文化の継承として「田植え踊り」や「民話紙芝居」、「郷土料理」への取り組みを本格化させたことが、現在の「いいたて学」のルーツとなっています。

そして平成31年4月から現在に至るまで飯館村教育長として「竹のようにしなやかに、石のようにどしどし」と、自らに誇りを持つ教育」という教育理念を柱に、村の教育の根幹を築き上げることに全力をお尽くしいただいております。

この間2期4年8か月にわたり、教育に対する深い志と情熱をもち、周囲への心使いを忘れないそのお人柄をもって、村の教育行政のために、子ども達のために「ご尽力いただきましたこと」に、心から敬意を表し、また深く感謝申し上げます。

如何ほどの言葉をもつしても哀悼の念は尽きません。

私もまた、未来に羽ばたく子ども達のために全力を尽くしていくこととお誓い申し上げます。

ひとのうごき

誕生おめでとう HAPPY BIRTHDAY!

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
菅野 優里名ちゃん	慶一さん 愛さん	関根・松塚

結婚おめでとう HAPPY WEDDING!

氏名	出身地
大和田 諒さん	小宮
菅野 裕日子さん	二本松市

ひとのうごき 令和6年1月4日現在

人口	今月(前月比)	12月1日~31日までの人口動態
●男	2,357人(-1)	転入 6人
●女	2,329人(-6)	転出 6人
計	4,686人(-7)	出生 1人
世帯数	1,812戸(-3)	死亡 8人
		(住民基本台帳人口)

おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 さとよさん	70	八木沢・芦原
杉岡 タケノさん	91	小宮
菅野 繁さん	90	小宮
佐藤 ナミヨさん	103	大倉
熊川 清美さん	70	飯樋町
佐藤 ミサオさん	98	上飯樋
高橋 正人さん	87	長泥
森 永安子さん	92	前田・八和木

ご冥福をお祈り申し上げます

(令和5年12月21日から令和6年1月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

【お詫びと訂正】1月号掲載の世帯数が1,822戸となっていました。お詫びして訂正します。

飯館村地域おこし協力隊がつづる いいたて DIARY



こんにちは、協力隊の横山です。
私が初めて入隊した時は全部で5人いた協力隊も気付けば私ひとりに…!(先輩方は3年の任期を終え続々と卒業してしまいました)

最近横山やたら広報に出てくるな、と思った皆様。今まで協力隊で順番に回ってきたこのページ、3月までまた私です。どうか温かい目で見守って下さい。

お店をオープンして半年経ちましたが、この村に貢献できているのかたまに不安になります。

「協力隊がこんな事してくれたら助かる!」みたいな事ありますか?ぜひ教えて下さいね。



地域おこし協力隊 横山 梨沙さん

コーヒー屋の食堂 飯館村草野字大師堂65
営 水・木・金曜日
時 午前11時30分~午後2時(日替わりランチ)
午後3時~午後5時(カフェタイム)
※土・日曜日のカフェは冬季休業中です。

村民広報委員
ふじおさんの
いいたて 宝さがし

第19回 雪の降った日に

うっすらと雪が降った日の朝。
今回は綿津見神社の多田宏さん・保子さん夫婦(宮内)を訪ねてきました。社務所の前の雪は綺麗に掃かれていて、とても気の引き締まる思いでした。

多田さんは大学卒業後、石川県白山市の「白山比咩神社」で2年間ほど神職を務めたそうです。話の中で、現在の石川県の能登半島地震のことを本当に我が事のように心配されていました。石川県から戻られた後は、飯館村の役場に入り、主に教育委員会で働き、「3巻の村史づくり」や大倉の発掘調査の一翼を担ったそうです。どんなにか根気のいる仕事で、どんなにか大変な作業だったろうかと思いました。



10年間ほど役場に勤められた後は、綿津見神社の宮司となり、その間保護司やボーイスカウト、本の執筆なども数多くされたそうです。現在は息子の仁彦さんに宮司を譲られました。

奥さんの保子さんは花が好きで、龍生派花道の教授だそうです。時間が出来たら2人でゆっくりとした時間を過ごしたいとも言っていました、時間がとれないとも話してくれました。

宝話は、おふたりの思い出話の中にいっぱいあったように思いました。

